

令和4年度 S特選コース

第1回 入学試験問題 (2月1日 午後)

国語 (50分)

注意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 問題用紙および解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 4 字数制限のある場合は、特別な指示がない限り、すべて句読点や「」「」などの記号を含んだ字数として解答すること。
- 5 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 6 試験終了の合図でやめること。

東京都立大学等々力中学校

受験番号		氏名	
------	--	----	--

□ 次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- 1、早苗を田に植える。
- 2、正絹のスカート。
- 3、兄は柔らかな性格だ。
- 4、熱心に修行を重ねる。
- 5、祖父を敬う。
- 6、重大な場面にムシヤぶるいがした。
- 7、社会のコンカンをゆるがす出来事。
- 8、この書類はシキユウ届けてほしい。
- 9、音声をヘンシユウする仕事に就く。
- 10、夏の訪れをツげる。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「僕」(僕)の父である津田正喜は、「僕」が生まれる時に亡くなった。母はこれ以外語つくとせず、「僕」は、会ったこともない人を「父」として呼ぶために、ずっと正喜さんと呼んでいる。母がいまだに正喜さんを深く想っており、正喜さんを失った哀しみも癒えていないと「僕」は痛いほどに分かっていた。この哀しみは、「僕」の心の奥深くにひっそりと沈殿していった。

夏休み、母の希望で「僕」たちはベルリンにやってきた。この街は「僕」が生まれる一年ほど前、母と正喜さんが訪れた場所である。そこで、母が正喜さんと泊まった思い出のホテルに二人で宿泊することになった。次は、ホテルに泊まった翌朝の場面である。

「薫に、聞いてほしいことがあるの」

母が少し深刻な表情でそう切り出したのは、マダム(注)が作ってくれたスクランブルエッグに、手作りのトマトケチャップをかけている時だ。僕は、

昨日の話の続きかと思った。でも、そうではなかった。

「ママね」

母のこんなにも険しい表情を見るのは、久しぶりだ。だから僕は、何かとても大事なことが起こる予兆を瞬時に察知する。もしかして、母が病気とか。しかも、もう治らない病気とか。だから最後に、息子の僕を思い出の地に連れてきてくれたのかもしれない。考えれば考えるほどだんだんおなかが痛くなりそうだった。でも、このタイミングで席を立つわけにはいかない。仕方なく、黙って次の言葉を待っていると、

「新しい人生を、歩み始めようと思うの」

母は予想外のことを口にした。けれどその静かな響きには、しっかりとした意志が込められていた。

「新しい人生って？」

まさか、このままベルリンに残るなんて考えているのだろうか。ここ数日間の母の興奮ぶりを思い出し、僕がそんなことを想像しかけた時、

「ママ、再婚しようと思ってね」

母は言った。僕の目をまっすぐに見て。母の肩越しに、真つ黒いグラウンドピアノが見える。あまりに予想外の展開に、僕は言葉を失った。脳味噌から、脂汗がにじみ出てくる。小学生の頃は、母が誰かと再婚してくれたらいいと願っていた。でも、そんなことは逆立ちをしたってあり得ない、そう思ってあきらめていた。

「驚いた？」

母が、茶色いパンにバターをたっぷり塗りながら、強い目で僕を見る。母の目の周りに、昨日の夜のような赤い雲の広がりはない。母は、僕の言葉を待っている。でも、^①何も言い出せなかった。頭の中で、たくさんのブーメランが、乱れ飛んでいる。

僕は、**A** 母の発言がなかったかのように、スクランブルエッグを口に詰め込んだ。味がしないのは気のせいだろうか。砂が入り込んだみたいに、なんだか胸の奥が **B** する。母の新しい人生を素直に喜ぶことができない自分にますますむかつき、僕は味のしないスクランブルエッグを食べ続けた。

僕の体と心に蓄積されたこの哀しみは、どうなってしまふのだ。得体の知れない怪物のようなそれを、なんとか飼い馴らし、ようやくここまで辿り着いたというのに。哀しみは時間をかけて降り積もり、今では地層のように固まって、すっかり僕を支配している。僕に残されたそれは、どうなってしまふというのだ。

けれど僕は、自分の哀しみの存在を、母に正直に打ち明けることが、どうしてもできなかった。結局はまた、正喜さんを利用してしまふ。

「正喜さんは？ 正喜さんはどうなっちゃうの？」

僕がそれを言ったのは、大量のスクランブルエッグを全部平らげ、ヨーグルトの中にはちみつをこぼしている時だ。

「マサキはもう、いないもの」

目の前の母は、目じりにたくさんしわの皺を作って微笑んだ。目じりに深く刻まれた皺が、乾いた大地に跡を残す川のように見えてくる。この幾筋もの川を伝って、母の涙は海に流れた。目の前にいる母は、頬ほおがこけ、年相応に疲れている。

「忘れちゃったの？」

少しして、僕は聞いた。どうしても、母の顔をまっすぐに見ることができない。新しい人生とやらに、僕自身は含まれるのだろうか。

「忘れるわけじゃないじゃない。でも、もうこの世界にはいないんだってことが、今回の旅行で、ママ、やっとわかったの。触ったり、手をつないだりすることは、もう二度とできないんだって。それまでは、いつかマサキが帰ってくるような気がしてたんだけど。だからずっと、お墓にも行けなかったのね」

母は他人ひとごと事みたいにそう言いながら、マダムが注ぎ足してくれたコーヒーに口をつける。

「あの時、私もマサキも必死だった。頭が混乱して気を失いそうだった私の手を握って、がんばれ、がんばれ、って応援してくれた。頭から血を流しているのに、それでも自分のことより、妻と子の身を案じてくれたの。ママは本当に気がおかしくなりそうだった。だって、最愛の人が息もたえだえになっっているのに、なんにも助けることができなかったんだもの。新しい命は、今まさに誕生しようとしているし。その時に、人生に与えられたエネルギーを、全部使い果たしてしまったのよ」

十三年経って、母は初めてその時（注）の話をした。その意味の大きさを、僕はちっぽけな頭で必死たふに考える。そしてようやく、ひとつの質問へと辿り着いた。

「ママは嬉うれしかった？ 僕が生まれた時。それとも、悲しかった？ 正直に答えて」

「こんな②（ ）詰つままった会話を母と交わすことなんて、今までなかった。でも僕は、母の本当の気持ちを知りたかった。もしかすると、ずっと知りたかったのかもしれない。

「もちろん、嬉しかった。だって、マサキの子どもだもの。望んで望んで、神様に拝み込んで、ようやく授かった命だもの。でも、やっぱりマサキを失った悲しみの方が大きかったの。ママは、薫を抱っこしたりおっぱいを飲ませながら、いつも泣いていた。薫を見ていると、どうしたってマサキを思い出してしまうから。薫はマサキにそっくりだから」

母にとって、僕の誕生より、正喜さんの死の方が大きかった。うすうす、なんとなくはわかっていた。でも、今初めて、本人の口からはつきりとそれを聞いた。何か壊せる物があつたら、僕は今すぐそれを手に取って、思いきり床たに叩たたきつけたかった。

「だけど、③それが逆転したわ」

母が、声のトーンを落としてつぶやく。

「ベルリンに来て、薫と一緒にいろんな所に行つて、うまく言えないんだけど、ああ、私の人生は幸せだわ、つてやつと思えたの。心の底からね。なんとなくママは、人生を楽しむことに、罪悪感を持つていた。マサキに申し訳ないつて。でも、そうじゃないことによく気づけたの」

ここまで母が言った時、ホテルのご主人と一緒に大型の犬が二匹、散歩から戻ってきた。一匹は漆黒しつこく、もう一匹はベージュで、ドイツの犬らしく、どちらもとても賢そうな顔をしている。二匹はじゃれ合いながら、楽しそうにピアノの周りを駆け回つていた。正喜さんになつたという犬かもしれない。そう思つたらふと、犬の背中を熱心に撫なでる正喜さんの後ろ姿が、風景に透けて見えそうになる。

もしかすると、母の目にもまた、犬の背中を撫でる正喜さんの横顔が見えているのかもしれない。母は、そんな表情を浮かべている。気づけば僕の乱暴な気持ちは、どこかへ行つてしまつていた。それにね、と母は続ける。

「ママはもう、マサキと過ごした時間より、薫と一緒にいる時間の方が長いよ。そんな日が来るなんて、思つてもみなかった。それで、ある人からのプロポーズを受け入れようつて、思えたの。だつて、ママはこれから先も、生きていかなくちやいけないから。人は、ひとりじゃ生きていけないつてことが、はつきりわかつたわ。もちろん、ママには薫がいてくれるけど、親子とは、少し意味が違うのよ」

⑤ 母の言つていることが、わかるようで、わからない。わからないようで、少しわかる。

「薫、今まで本当にありがとう」

母は急に改まった様子で言つた。なんだか母が、遠くに離れてしまうようで心細くなる。

「ママ、薫がいなかったら、絶対に乗り越えられなかつたから。ママね、すつごく嬉しかったの」

「何が？」

「だつて薫、ママのこと、いっぱい笑わせてくれたでしょう」

「覚えてるの？」

僕はすつと、あれは人生の失敗談だと思つていた。

「当たり前じゃない。毎日毎日、今日はどんなこととして笑わせてくれるんだろうつて、家に帰るのが楽しみだつたんだから」

幼こい頃のあの努力は、無駄ではなかつたのだ。そう思つたら、^⑥僕の中に降り積もつた哀しみが、ほんの少し溶けたような気がした。

「僕さ」

僕は、母の瞳をしっかりと見て言つた。母の顔が、Cとかすんで見える。こんな時に、どうして涙が込みあげてくるのだろうか。わからなかつたけど、僕は母から目を逸そらさずに続けた。

「母さんが幸せになるのを、応援するよ」

その瞬間、母がにつこり笑う。太陽のように。いや、母は太陽そのものだった。

ベルリンで過す時間は、あと一日残っている。

(小川糸「僕の太陽」より)

(注1) 「マダム」……………既婚女性に対する敬称。夫人。奥様。

(注2) 「昨日の話」……………母がこのホテルで「僕」を授かったという話。「僕」はこれまで正喜さんを得体のしれない幽霊でも見るように思っていたが、この話を聞いて、窪田正喜という存在が確かな重みを持って迫ってきたと感じている。

(注3) 「真っ黒いグランドピアノ」……………かつて母と正喜さんがホテルに泊まった際、正喜さんが演奏したピアノ。

(注4) 「昨日の夜のような赤い雲の広がり」……………「僕」と母は、昨夜母と正喜さんの思い出のレストランに行った。そこでワインを飲んだ母の目の周りに広がった色彩のこと。

(注5) 「その時」……………「僕」が生まれた日の夜のこと。母は予定より早く陣痛が来て、正喜さんは慌てて病院に連絡したが翌朝来るようにと言われた。しかし、母の苦しむ姿を見るにつけ、正喜さんはいてもたつてもいられず、母を車の助手席に乗せ、雨の中病院に向かった。その途中で自動車事故に遭い正喜さんは亡くなった。事故の原因は対向車の居眠り運転であった。そして、「僕」は事故後の車内で生まれた。

(注6) 「幼い頃のあの努力」……………正喜さんを思い出して「僕」の目の前でぼんやりたらずむ母を、幼い頃の「僕」が人生のすべてのエネルギーを費やし、思いつきり笑わせようとしていたということ。母はくすつと笑ったが、その儂い^{はかな}笑顔の背後には無限の哀しみが控えていた。「僕」の手には負えないと分かっていたが、「僕」は母を大笑いさせたかった。

問 一、——線①「何も言い出せなかった」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、母に意表を突かれた「僕」は、母に言いたいことが多くあるものの、ためらっていたから。

イ、「僕」には予想外の展開だったため、母が期待するような言葉を考える余裕がなかったから。

ウ、母の決意を前に、「僕」の言葉はもはや何の役にも立たないとあきらめていたから。

エ、「僕」が密かに抱いてきた希望をやっと叶えられるとわかり、興奮してしまっただから。

問 二、

A

にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、おそろく イ、とても ウ、決して エ、まるで

問 三、

B	・	C
---	---	---

にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、はらはら イ、ゆらゆら ウ、さらさら エ、ざらざら オ、ずるずる

問 四、——線②が「差し迫った状況で身動きがとれなくなる」という意味になるように、() にあてはまる言葉を三字以内で考えて答えなさい。

問 五、——線③「それ」の指し示す内容を説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、それぞれ指定された字数で答えなさい。ただし、1は文章中の言葉を使い、2は文章から抜き出して答えること。

1、十字程度

よりも、

2、十字

の方が勝ったということ。

問 六、——線④「僕の乱暴な気持ちは、どこかへ行ってしまっていた」とありますが、「僕の乱暴な気持ちは」を具体的に表している一文を文章の中から探し、最初の五字を抜き出して答えなさい。

問七、——線⑤「母の言っていること」とはどのようなことですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、夫と過ごした時間より、息子と共に歩んだ時間の方が大切であるということ。
- イ、ひとりで生きてゆくことの孤独感から解放されたいということ。
- ウ、夫と妻を結び付ける愛情と親と子を結び付ける愛情は異なるということ。
- エ、プロポーズを受け入れることによって、過去とは決別するということ。

問八、——線⑥「僕の中に降り積もった哀しみ」について、次の各問いに答えなさい。

1、「僕の中に降り積もった哀しみ」を説明したものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、母の、亡くなった正喜さんを忘れようと努力する上での哀しみ。
- イ、母の、亡くなった正喜さんを忘れられないことに対する哀しみ。
- ウ、「僕」の、亡くなった正喜さんを父親だと思えないことに対する哀しみ。
- エ、「僕」の、亡くなった正喜さんとの思い出が何一つないことに対する哀しみ。

2、「ほんの少し溶けたような気がした」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、母の再婚相手も、正喜さんと同じように、母を幸せにできる存在だとわかったから。
- イ、これまで「僕」が母に抱いてきた疑念が晴れ、今後の人生を楽しめるとわかったから。
- ウ、正喜さんだけではなく、「僕」自身も母を笑顔にできる存在だとわかったから。
- エ、「僕」のことを愛せずにはいた母が、「僕」の想像以上に苦しんでいたことがわかったから。

問九、文章の内容にあてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、母は、意を決して「僕」に再婚話を切り出したが、「僕」の予想外の反応に戸惑いの表情を見せ、「僕」を落胆させた。
- イ、母は、正喜さんを忘れるためにベルリンへ来たが、過去の思い出に浸り、プロポーズ相手との未来を見つめることができなかつた。
- ウ、母は、「僕」が母のことを大切に思ってくれていると認識し、今後は「僕」だけのために前向きに人生を歩もうと思いはじめた。
- エ、母は、「僕」とベルリンに来たことで、「僕」の存在の尊さを認識し、「僕」とプロポーズ相手とともに新たな人生を歩もうと決心した。

【三】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ヒトの場合、このような感覚入力からはじまるボトムアップ処理だけで「何か」を認識しているのではなく、前頭葉からのトップダウン処理もおこなわれている。① トップダウン処理では、そうやってパターン認知した情報が、知っているモノの形(知識表象^{注3})としてすでにあるかどうかを長期記憶のなかから検索して、最も似ている知識表象を選択する。つまりそれまでにもっていた知識や記憶と照らし合わせて、「何か」としてカテゴリー化する。^{注4}

だから、モノが置かれた文脈によって、同じ形のモノでも別の「何か」として認識されることがある。図1の右端にある上下二つは同じ絵だ。A、上段のようにさまざまな顔の絵のなかはこの図があると、メガネをかけたおじさんに見えやすく、下段のように動物の絵のなかにあると、ネズミに見えやすくなる。とくに、入力される感覚からの情報が不十分なときには、このトップダウン処理が優位になる。そのときは、知識を使った推論によって、それが「何か」を知ろうとする。たとえば、図2に何が描かれているか、そう簡単にはわからない。「何か」を知ろうとする過程で、頭のなかを検索している感じを実感していただけなのではないだろうか。

そうやって知識や記憶を総動員して、「何か」としてカテゴリー化する。だから壁のしみのようなあいまいな形にも、わたしたちはさまざまな「何か」を見る。月でウサギが餅つき^{もちつき}をしているのも、おねしょのしみが日本地図をつくるのも、星の並びにさまざまな神話が生み出されたのも、この^③視覚認知の特性に基づいている。だからこそ、鉛筆1本が生み出す線でさまざまなものが表現できるのだろう。

「夕暮れのカラス」「絶望する人」「早春の竹林」——^{注5}アイの水彩画を整理するとき、わたしが勝手につけていたタイトルだ。チンパンジーの本意ではないだろうが、しばらく見てみると、さまざまなイメージが浮かぶ。そしてタイトルをつけた方が、「何月何日に描いた赤と黄の絵」などというより、あの絵だな、と思いだしやすく便利だった。

このように、見たモノを頭のなかでカテゴリー化し、シンボルに置き換えておけば、情報として記憶から取り出したり、他者に伝えたりすることが容易になる。そうして複雑な思考や効率的なコミュニケーションができるようになったことは、^④ヒトが文化や技術を発展させる原動力になったはずだ。



図1 文脈によって同じ絵の見え方が変わる。右端の絵は、上段の顔のなかにあるとメガネをかけたおじさんの顔に、下段の動物の絵のなかにあるとネズミに見えやすい。



図2 カモフラージュされたパターン。画面中央右寄りにダルメシアン(犬の一種)が見えてくる。

このカテゴリー化の基準になるのが、ほかでもない言語だ。だから異なる言語を話すヒトでは、その認識する世界も違うはずだ、と主張するの
が、サピアールウォーフ仮説（言語相対性仮説）である。言語化とカテゴリー化とがまったく同じとはいえないという反論もある。ただ少なくとも、ヒトが言語をもったことと、ヒトが世界をカテゴリー化して見る記号的なモノの見方をするようになったことは深く関連していそうだ。

イギリスの考古学者ステイヴン・ミズンは、壁画をはじめとする後期旧石器時代におこった文化の爆発の原動力を、知能が^⑤認知的流動性を得たことによるものと指摘した。

ネアンデルタール人や初期のホモ・サピエンスの脳では、より原始的な一般知能に加えて、集団のなかでの社会生活に特化した社会的知能、^ウ狩猟採集に特化した博物学的知能、石器製作などの物づくりに特化した技術的知能の三つがそれぞれ独立に発達していた。その後、芸術や宗教を生み出すようになったホモ・サピエンスに備わったのは、新たな知能ではなく、三つの知能の間に認知的な流動性を得たことだ、という指摘だ。わたしたちは、概念や思考方法、知識を別のことに応用して使うことが得意だ。^ひ比喩や類推を好むことも、その証拠として考えるところが合う。そしてこの認知的流動性を生み出したのが、言葉、それも今のわたしたちが使っているような分節化した構成的言語だと指摘されている。

ヒトは、言語を獲得したことによって、複雑で効率的な思考やコミュニケーション能力を手に入れた。そしておそらく同時に、想像する力も手に入れた。しかし、進化の過程で新しい能力を獲得することは必ずしも進歩ではない。実は既存の能力の喪失というトレードオフによって成り立っている。イギリスの心理学者ニコラス・ハンフリーが『喪失と獲得』のなかで論じているのは、そのような進化のうらおもてだ。

ハンフリーは、ヒトが言語を手に入れることで失った能力、それは、モノをありのまま写真のように知覚し、記憶する能力であると指摘している。そしてその説に説得力をもたせる現象の一つが、チンパンジーの記憶力だ。

前述のように、アイたち霊長研のチンパンジーたちは、数字の順番を覚えていて、画面上にランダムに散らばった数字を小さい順に触れることを学習している。この課題を使って、彼らの記憶力を調べた研究がある。井上紗奈さんらの研究だ。一番小さな数字に触れた瞬間に、数字がすべて白い四角に置き換わってしまう。そこで記憶を頼りに、小さい数字があった場所から順に答えていくという課題だ。

このとき、アイの子アユムをはじめ、子どものチンパンジーたちがずば抜けた記憶力を発揮した。数字が消えても迷いなくピッピッピ、と小さい順に触っていく。数字が表示されてからスタートの1を押すまでに0・6秒、その短時間に配置を覚えていることになる。これは一見にしかずなので、「アイのホームページ」から、ぜひその映像をもらいたい。比較対象として、京都大学の大学院生などが挑戦しても、到底勝てない速さで、しかも高い正答率なのだ。

彼らがこのような能力をもつのは、数字が散らばった画面を写真のように映像で記憶しているからだと考えられている。^注直観像記憶や映像記憶とよばれるものだ。ヒトがこの課題を解くときには、数字が消える前にその配置を1、2、3、4、……、と確認しようとする方法が一般的だろう。それはいわば記号化して覚える方法で、その処理の分、時間がかかる。

B 映像記憶なら、カメラのように一瞬で記憶できてしまうという

わけだ。

(中略)

わたしたちは言語をもったことよって、目に入るものをつねにカテゴリー化し「何か」として見ようとする記号的な見方をしている。つまり目に入るものをそのまま認識しているつもりでも、無意識に^⑥言語のフィルターを通して世界を見ているのだ。

すでに述べたように、チンパンジーは線画に描かれたモノが「何か」を認識することができる。それはすなわち描線を「何か」に見立てていることになるのだから、カテゴリー分けをするような記号的なモノの見方をまったくはいいきれない。とくに、子どものころに何らかのシンボルを学習したチンパンジーが、ほかのチンパンジーより記号的なモノの見方をしていることを示す証拠も少しある。

先に紹介したプレマツクの研究で、ただ一人、顔のパーツを並べて福笑いを完成させたサラも、プラスチック片による言語を学習していたことを思い出してほしい。

C、チンパンジーのカテゴリー化能力を調べた田中正之さんの研究もある。まず、7人のチンパンジーに「花」「木」「草」「その他」の四つのカテゴリーに属するモノの写真から、いつも「花」を選ぶことを学習させた。これは、どのチンパンジーもできるようになった。ピンクのサクラでも、黄色いタンポポでも、学習によって同じ「花」とカテゴリー分けができるというわけだ。次に、写真のかわりに写実的な彩色画、色つきのデフォルメされたイラスト、白黒の線画を見せて、そのなかからも「花」を選べるようになるかを調べた。その結果、アイと3人の子どものチンパンジーたちは、どんな表象でも「花」を選ぶことができるようになった。**D**、他の3人のおとなのチンパンジーたちは、偶然の正答率以上に正解できるようにならなかった。

動物が生きていくためには、環境のなかで天敵や食物を見分けなければいけない。そのため^⑦多くの動物がこの基本的なカテゴリー化をおこなっている。しかし、チンパンジーは、花のように食物でないものも、ある程度のカテゴリー化ができるようになる。さらに、若くて思考が柔軟なうちか、アイのように、ある時期までに漢字などの視覚的なシンボルを習得した経験がある場合には、さまざまな表象表現を認識し、カテゴリー化ができるようになるということらしい。

(齋藤 亜矢「ヒトはなぜ絵を描くのか——芸術認知科学への招待」より)

(注1)「このような感覚入力」……十字型・曲線の組み合わせなど低次の情報から、複雑な図形・形・色の組み合わせなどの高次の情報に段階的に処理されるしくみ。

(注2)「前頭葉」……大脳半球の中心を左右に走る溝^{みぞ}より前方の領域。ヒトにおいてよく発達し、感情・注意・思考などの精神作用や自分の意志によって行われる運動を支配し、また他の領域と密接に連絡する。

(注3) 「表象」……………心に思い浮かべられる具体的な像。イメージ。

(注4) 「カテゴリ化」……………分類すること。

(注5) 「アイ」……………京都大学霊長類研究所でチンパンジーの絵の研究をした際に研究対象としたおとなのチンパンジーの名前。

(注6) 「記号的」……………「記号」とは、ある文化の体系の中で、一定の意味を表すもの。

(注7) 「分節化」……………連続しているものに区切りを入れること。

(注8) 「トレードオフ」……………何かを達成するためには何かを犠牲にしなければならない関係のこと。

(注9) 「直観」……………推理・推論・類推・伝聞によらず、直接的に対象をとらえること。

(注10) 「フィルター」……………ろ過装置。

(注11) 「サラ」……………言葉のかわりにプラスチック片を用いた言語を学習し、「顔」を構成することができたチンパンジーの名前。

(注12) 「デフォルメ」……………意図的にゆがみを加えて表現すること。

問一、——線①「トップダウン処理」とありますが、その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、長期記憶の中より知識表象を検索して最も類似した知識表象を選択すること。

イ、長期記憶を知識表象から検索して最も適切なカテゴリを選択すること。

ウ、知っているモノの形を知識表象から検索して類似の「何か」を長期記憶化しようとする。

エ、長期記憶と知識表象を同時に検索することで、最も類似している知識表象を選択すること。

問二、

A

D

 のうち逆接の接続詞が入らないものを二つ選び、記号で答えなさい。

問三、——線②「動物の絵」は何の具体例として挙げられていますか。文章中から二字で探し、抜き出して答えなさい。

問四、——線③「視覚認知の特性」とありますが、それはどのようなことですか。「見方」に続くように、文章中から三十五字以上四十字以内で探し、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問 五、——線④「ヒトが文化や技術を発展させる原動力になった」とありますが、「原動力」の例として適当でないものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

ア、おねしよのしみを地理や医学の知識で解釈すること。

イ、星座にまつわる神話の論理的整合性に疑問を抱くこと。

ウ、意味のない月の模様をウサギの餅つきに見立てること。

エ、壁のしみから強い恐怖心に駆られるような幽霊を連想すること。

問 六、——線ア「考古」・イ「原始」・ウ「狩猟」・エ「製作」のうち、他と構成が異なる熟語を一つ選び、記号で答えなさい。

問 七、——線⑤「認知的流動性」の例として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、いつも多くの人と一緒に居る集団をシマウマの群れに例える行為。

イ、川の水量や濁りとイワナの釣果の関係を近隣の人と情報共有する行為。

ウ、狙った獲物にめぐり会えるまで何日でも忍耐強く歩き続ける行為。

エ、扱う獲物によって、石器の材質や形状を変化させようとする行為。

問 八、——線⑥「言語のフィルターを通して世界を見ている」とありますが、これとは対照的な認識方法を文章中から四字で探し、抜き出して答えなさい。

問 九、——線⑦「多くの動物がこの基本的なカテゴリー化をおこなっている」とありますが、条件を満たしたチンパンジーの「カテゴリー化」が「多くの動物」の例外である理由を、文章中の言葉を使って四十字以上五十字以内で説明しなさい。ただし、「認識」という言葉を必ず使わず、「〜ではないものでも、〜から。」の形で答えること。

問題は次ページに続きます。

資料A 「コロナで百貨店の売上高 1兆5,000億円減少 百貨店の8割が赤字」

全国の主要百貨店70社の2020年度(2020年4月期-2021年3月期)の売上高は、合計4兆996億円(前期比27.0%減)で、前期より1兆5189億円減少した。調査を開始以来、5期連続の減収となった。

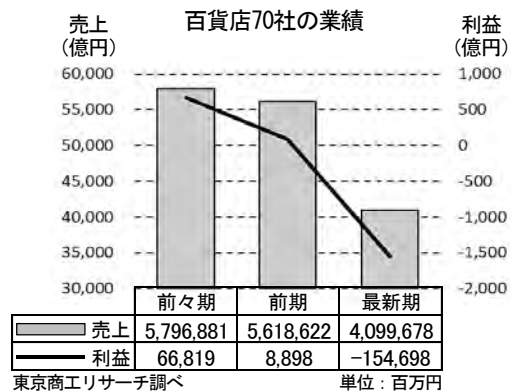
期初から新型コロナ感染拡大の影響が直撃し、外出自粛や休業、時短営業に加え、①インバウンド需要の消失など、かつてない苦戦を強いられた。

純利益は、合計1546億円の赤字(前期は88億円の黒字)だった。雇用調整助成金などの各種支援を受けながらも、想定以上の売上の落ち込みで費用を吸収できない企業が続出し、赤字百貨店は全体の約8割(構成比79.4%)にのぼった。

百貨店業界は消費形態やライフスタイルの変化で百貨店離れが加速し、ここ数年は撤退や閉店が全国で相次いでいる。コロナ禍はこれに拍車をかけ、装置産業で対面販売を軸にした旧来型のビジネスモデルの弱点をあぶりだした。

2021年に入っても大手百貨店の閉店が相次ぎ、不振に喘ぐ地場百貨店の経営破たんも発生している。新型コロナの感染再拡大、緊急事態宣言の発令などで引き続き厳しい事業環境が続くだけに、当面の市場縮小は避けられない見通しだ。

(出典:2021年8月31日東京商工リサーチ「データを読む」)



資料B 「インバウンドとは」

インバウンド(inbound)は「外国から自国への旅行」や「自国への外国人旅行者」を指す言葉です。日本へのインバウンドは「訪日旅行」「訪日外国人」とも呼ばれます。

2019年、日本の訪日外国人数は過去最高の3,188万人となりました。2014年の春節(旧正月)頃に訪日中国人観光客による「爆買い」現象が目立って以来、テレビのニュースなどでも「訪日外国人」「外国人観光客」「インバウンド」「インバウンド需要」「観光立国」などのキーワードが頻出するようになっています。

一方で2020年2月頃からは、新型コロナウイルスの世界的な流行により旅行需要が停滞し、感染対策のための入国制限も敷かれることとなりました。訪日外国人が激減し、インバウンド市場は大きな打撃を受けています。

(出典:訪日ラボ「インバウンド用語集」)

資料C 百貨店の現状

一般社団法人日本百貨店協会の「全国百貨店売上高概況」(2019年12月発表)によると、2019年の年間売上高は約5兆7547億円と前年より1.4%減で、市場規模は縮小傾向だ。特に少子高齢化の影響を受け、地方百貨店の苦戦が続いている。

大都市圏では、インバウンド(訪日外国人)の取り込みを続けてきた結果、外国人向けの販売額が、売り上げの中で一定の存在感を持つようになった。また高級路線の小売店として、ハイブランドや高品質品を消費者に訴求・提案する動きもある。一方、専門店をテナントとして招き入れる生き残り策を取る店舗もある。

百貨店や家電量販店にとって強力なライバルとなっているのが、ネットショップだ。経済産業省の調査では、2018年の日本国内のBtoC*向けのEC(Electronic Commerce、電子商取引)市場規模は、約18兆円と前年より8.96%増と拡大傾向であることがわかった。(*「B to C」…Business to Consumerの略で、企業(Business)が一般消費者(Consumer)を対象に行うビジネス形態のこと。)

各社はさまざまな販売業者の商品を1つのサイトでまとめて販売するオンラインショッピングモールが存在感を強める中で、人気のオンラインショッピングモールに出店したり、自社でネットショップ事業に乗り出して対抗したりしている。また、実店舗にタブレットを配備して、店頭にはない商品をネット注文できるようにするなど、店舗とネットを連携・融合させる新たな取り組みも始まっている。

(出典:リクナビ「業界研究」<<https://job.rikunabi.com/contents/industry/>>)

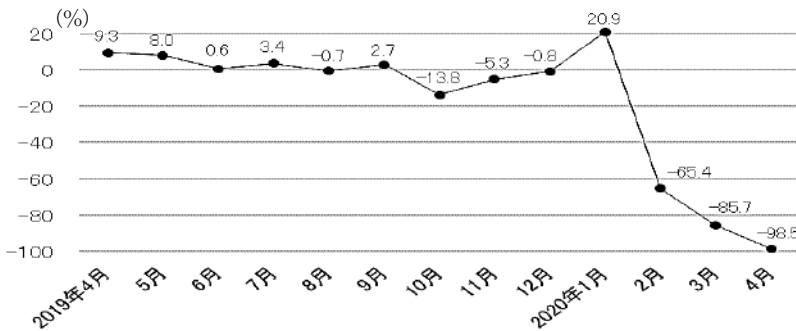
資料D 観光立国日本

2014年から、日本は「観光立国」を目指して歩んでいます。観光立国とは、国内外から観光客を誘致して、人々が消費するお金を国の経済を支える基盤のひとつとしている国のことです。そのためには、特色のある自然や都市の環境・光景をアピールするとともに、美術館などの観光施設を整備する必要があります。

日本が観光立国を目指す理由は何でしょうか。現在の日本では、景気の低迷や少子高齢化で、国内消費の拡大が難しくなっています。そこで観光に注力し、インバウンド客を呼び込んで消費を促そうと考えられました。温泉・和食・忍者・侍・ポップカルチャー・神社・豊かな自然など、日本には海外の人に好まれるコンテンツが豊富にあります。しかしながら、これまでインバウンド客の受け入れ態勢やアピール力が不十分でした。今、そういった部分を見直してより多くの観光客を呼び取り組みがされているのです。また、観光業を活性化させることで多くの雇用を生み出すことも狙いです。特に促進されているのは、観光業での女性の活躍です。結婚や出産で仕事から離れていた女性たちが、観光業で働き、納税者となればさらに国の財政が潤います。こうした理由から、日本は観光立国を目指しているのです。

(出典:おもてなしHR<<https://omotenashi.work/>>)

資料F 百貨店免税品売上高前年同月比 (2019年4月～2020年4月)



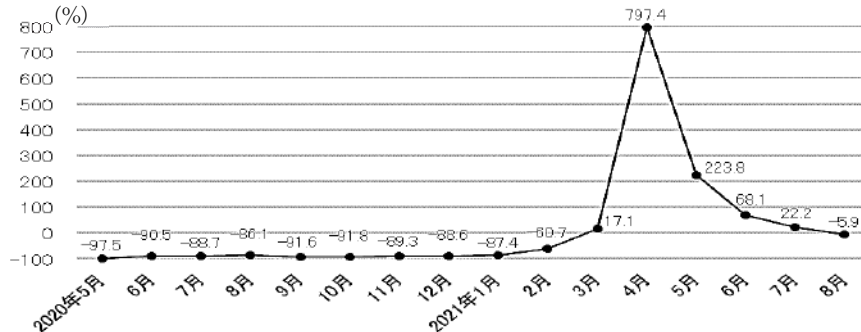
資料E 日本の免税制度

外国人旅行者等の非居住者(以下「非居住者」といいます。)が、土産品等として国外へ持ち帰る目的で輸出物品販売場において、免税対象物品を一定の方法により購入した場合には、その購入に係る消費税が免除されます。

これは、非居住者が土産品等を国外へ持ち帰ることは、実質的に輸出と同じであることから設けられている制度です。

(出典:国税庁HP)

資料G 百貨店免税品売上高前年同月比 (2020年5月～2021年8月)



資料H 百貨店免税品売上高 (2019年4月～2021年8月)

年月	実額	前年同月比	年月	実額	前年同月比	年月	実額	前年同月比
2019年4月	約344億7千万円	109.3%	2020年4月	約5億円	-98.5%	2021年4月	約45億円	797.4%
2019年5月	約309億9千万円	108.0%	2020年5月	約7億7千万円	-97.5%	2021年5月	約25億1千万円	223.8%
2019年6月	約283億3千万円	100.6%	2020年6月	約26億8千万円	-90.5%	2021年6月	約45億1千万円	68.1%
2019年7月	約281億3千万円	103.4%	2020年7月	約31億7千万円	-88.7%	2021年7月	約38億7千万円	22.2%
2019年8月	約256億6千万円	99.3%	2020年8月	約35億5千万円	-86.1%	2021年8月	約33億4千万円	-5.9%
2019年9月	約253億2千万円	102.7%	2020年9月	約21億2千万円	-91.6%			
2019年10月	約256億4千万円	86.2%	2020年10月	約21億円	-91.8%			
2019年11月	約261億5千万円	94.7%	2020年11月	約27億9千万円	-89.3%			
2019年12月	約299億2千万円	99.2%	2020年12月	約34億4千万円	-88.6%			
2020年1月	約316億9千万円	120.9%	2021年1月	約39億9千万円	-87.4%			
2020年2月	約110億2千万円	34.6%	2021年2月	約43億3千万円	-60.7%			
2020年3月	約47億5千万円	14.3%	2021年3月	約55億5千万円	17.1%			

(出典:資料F～Hは日本百貨店協会「免税売上高・来店動向」を元に作成した)

問 一、資料A中の——線①「インバウンド需要の消失」とありますが、これは具体的には何が原因でどのようなことが起きたことを指していますか。他の資料を参考にし、「買い物客」という言葉を必ず使って四十字以内で答えなさい。

問 二、資料A～Hから読み取れることとして適当でないものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

ア、資料A中の「消費形態やライフスタイルの変化」とは、一つには少子高齢化による購買行動の変化が挙げられる。

イ、資料A中の「消費形態やライフスタイルの変化」とは、一つにはネットショッピングの増加が挙げられる。

ウ、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、これまで高級路線の小売店として好調だった百貨店も苦戦を強いられるようになった。

エ、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって減収が続いていた百貨店だが、二〇二一年四月には過去に類のない大幅な収益があった。

オ、百貨店のインバウンド売上は二〇二〇年四月に最も減り、その後やや回復したが、コロナ禍以前の規模とは程遠い状況である。

カ、外国人観光客を拡大させる日本の政策は、景気の低迷や少子高齢化による国内消費の停滞、女性の雇用の創出なども関係がある。

キ、訪日外国人が激減した原因としては、新型コロナウイルス感染拡大の他に、海外の人に好まれるコンテンツのアピール不足も挙げられる。

四	
二	一

三								
九	八	七	六	五	四	三	二	一

二								
九	八	七	六	五	四	三	二	一
	2	1		2	1	C	B	

一									
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

（受験生はこれより上段には記入しないこと）

注意事項
・解答は解答欄の枠内に濃くはつきりと記入して下さい。
・解答欄以外の部分には何も書かないで下さい。

令和4年度 S特選コース

第一回 中学校入学試験問題

〔国語〕

解答用紙

（2月1日午後）

氏名

受験番号

0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

評価点

一	
1	早苗
2	正絹
3	柔和
4	修行
5	敬（う）う
6	ムシヤ
7	コンカン
8	シキユウ
9	ヘンシユウ
10	ツ（げる）る

二	
問一	
問二	

二	
問三	B
問四	C

二	
問五	2
問六	1
問七	
問八	
問九	

三	
問一	
問二	
問三	

三	
問一	
問二	
問三	

三	
問四	最初
問五	
問六	
問七	
問八	最後
問九	

三	
問六	
問七	
問八	

四								
問九								
問一								

四			
問一			
問二			

四	
問二	

見方。